

踏み跡 < My mountains >

那須	茶臼岳・朝日岳から北温泉へ	No.094
----	---------------	--------

昭和42年9月24日

那須へ夜行列車で行くのは非常に不便だ。夜行列車が黒磯駅に着くのが3時前、那須温泉へ行くバスが出るのが7時15分。そういった不都合さをいくらでも解消するために、今回は座席が確実に確保できる東北急行バスを使って、「ぐっすり眠って行く」という理想的に近い夜行山行を計画した。

今回は、掛け声をかけてはいたがメンバーが集まらず、太田さんと二人だけになってしまった。

東京駅八重洲通り発0時00分、仙台行。徹夜勤務明けで何となくだるい体で出発。リクライニングシートのデラックスバスで、国鉄の一等車よりもずっと良い。その上乗客が少ないシーズンなので、切符も楽に買うことができた。運賃は国鉄の普通運賃とはほぼ同額、所要時間も普通列車並み。

黒磯着4時05分。ぐっすり眠れたので、徹夜明けの疲れもほとんどとれてしまったが、駅のベンチで再び仮眠。5時、始発列車のアナウンスで起こされて朝食。お湯を湧かしてインスタント味噌汁とにぎりめし。駅舎の中には夜行列車で来た連中がかなり寝ている。

カッコー平行のバスは7時15分発、見慣れた景色の中を一時間余でカッコー平(1382m)に到着。

8時20分に出発。峰の茶屋(1725m)9時20分。季節風に歯向かって歩いた3月の苦しみとはまったく趣きを異にして、実に穏やかそのもの。

茶臼岳(1915m)を往復。まだロープウェイが動いている季節なので色々な人が来ている。中には着物姿の老人やスカート姿の女性なども居り、いささか力抜けの感じがする。生憎男鹿山塊の山々はガスに隠れて見えず、期待はずれの山頂だった。

朝日岳の肩から朝日岳(1896m)をピストン。

朝日岳から熊見曾根を越えて清水平へ、美しいクマザサの稜線。所々に湿地もあり植物も豊富だ。中にはもう紅葉しているものも見られる。

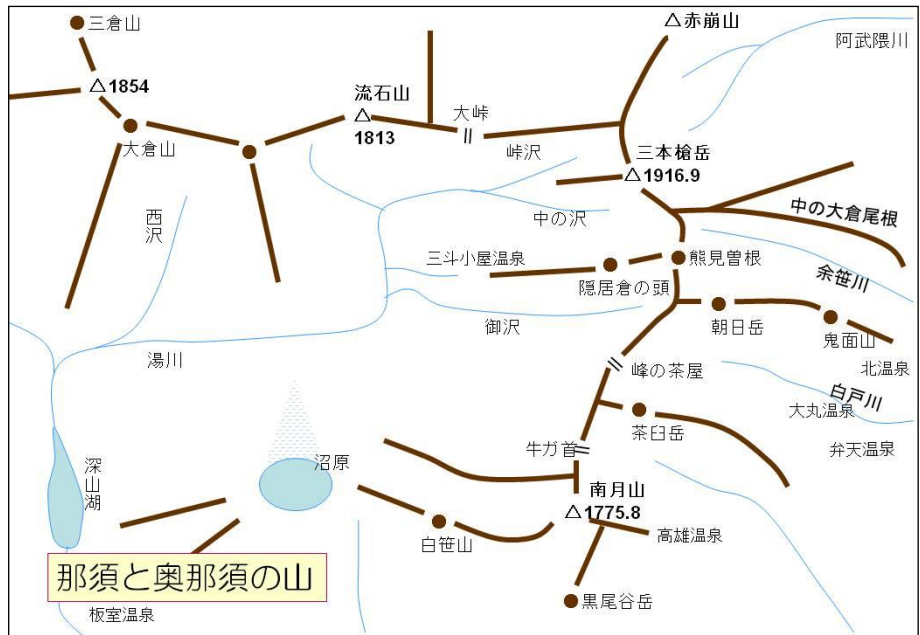
ガスの中に時々姿を見せる三本槍岳のまだら模様の紅葉を見ながら三本槍の肩で昼食。12時35分からたっぷり食べてたっぷり休憩14時に出発。

ここから三本槍岳を往復してもよかったのだが、空模様からして行ってみてもさしたる益はなさそうな気がするので中止して大休止。下山路は中の大倉尾根経由北温泉へと決めて軽食。

ここからハイマツ越しに見る朝日岳は、見馴れた表側の景色と違って落ち着きがあって良い。

左の肩越しに茶臼岳が顔を出しているのが特徴。(上写真:三本槍の肩から茶臼岳と朝日岳)

中の大倉尾根、下って行くと朝日岳が段々に見上げる高さになっていく。当たり前のことではあるが面白い。



踏み跡 < My mountains >

北温泉の前で沢を渡り、山の腹を巻いて八幡温泉のバス道へ出た。紫色のアケビがぶら下がっているのを眺めながら気持ちの良い道を八幡温泉へ歩き、黒磯行のバスに乗った。

黒磯駅17時着、駅前でラーメンを食べて東北急行バスを待ったが、遅れているようなので諦め、18時16分発の東北本線の急行に乗った。上野着は20時40分。

天候の関係で眺望を楽しむことができなかったのは残念だった。

以上

(修正・更新:2023年11月)